

月島の長屋

中央区月島には、今でも長屋が多く建ち並んでいます。現在残っている長屋のほとんどは、1923（大正12）年に起こった関東大震災の後、大正末期から昭和初期に建てられたものです。私がまちづくり活動の拠点にしている「月島長屋学校」の二軒長屋も、1926（大正15、昭和元年）に建てられました。

さて何故、多くの長屋が関東大震災の後の数年間に建てられたかというと、「震災復興住宅」だったからです。関東大震災では、佃島（現佃一丁目）を除いて、月島を含む都心部の全てが焼失しました。住宅が不足する中、埋立地の

ぐるっと

湾岸

再発見

No. 65



二軒長屋。玄関が両側にある。間取りだけではなく、ファサードも左右対称になっている

月島は東京市（現東京都）の所有だったため、復興住宅の建設地にもなっていました。短期間で多くの住戸を整備できるようにと、一住戸のサイズは間口2間、奥行き3・5間で統一され、同じ間取りがシンメトリ（左右対称）に並ぶ長屋建築になりました。当時の大工の下小屋（仕事小屋）には、同じ長さの木材がたくさん保管されていたそうです。規格化されて、効率的に建設されていたのです。

長屋一住戸の床面積は1階と2階を併せて44㎡しかありませんが、かつての月島には単身の労働者が多く居たので、1階と2階が別々に貸しだされて、台所とトイレをシェアする住み方が多くされていました。今流行のシェアハウスの先駆けですね。

長屋に暮らす人々には、共同体的な近所付き合い・コミュニティがありました。出

（芝浦工業大学教授）
志村秀明

JAPAN BEACH GAMES® Festival ODAIBA2022 Have a Fun BEACH SPORTS

ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場 2022

5月3日（火・祝）～5月6日（金）10:00～16:00

<https://www.jbeach.jp/>



↑前回のビーチバレーボールの公式大会。

↓ビーチテニス体験会



元ビーチバレーボール選手の浦田聖子さんも来場



ビーチバレーボールの体験



<ビーチ・マリンスポーツ>観戦／体験

ビーチバレーボール、ビーチテニス、ビーチサッカー、フレスコボール、スラックライン、ビーチウッドボール、テックボール、フライングディスク、トライアスロン、コースタルローイング、ビーチフラッグス、モルック、ビーチサン跳ばし、ビーチリトミック（ビーチde太鼓、ビーチde新体操）、ビーチチア&ダンスコンテスト

<心のバリアフリー>体験

車椅子バスケットボール、ボッチャ

<海岸防災>体験 遊佐雅美の海辺の安全教室

SDGs 14.海の豊かさを守ろう>体験

ブルービーチプロジェクト（ビーチクリーン）

プログラムスケジュールなどは上記のHPで



人気のフレスコボール体験



車いすバスケットボールの根本慎志さんも参加



ビーチフラッグス



ビーチサッカー

ビーチスポーツの魅力を知り体感して欲しいと「ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場2022」（NPO法人日本ビーチ文化振興協会主催）が5月3日～6日までお台場海浜公園で開かれる。

東京2020大会のため閉鎖され、またコロナ禍のため久しぶったイベントだが、今回は海

辺で、ビーチ・マリンスポーツの国内大会などの公式戦も多く観戦でき、16種ものビーチマリンスポーツが体験できる。

こどもの日イベント

5月5日の子どもの日には、ファミリーで楽しめる「子どもビーチ」はだして楽しく健康的にビーチで遊べるように、また「ビーチバリアフリー」とし

て、砂浜の一部にゴムマットを敷き、だれでも砂を肌で感じられるようなスペースも用意される。

「ビーチサン跳ばし」「ビーチフラッグス」「車いすバスケット」「ボッチャ」など15種のビーチスポーツ体験できる。ビーチバレーボールや車いすバスケットボールなどトップアスリートの直接指導もある。

ステージではビーチチア&ダンスコンテスト、水際では、シャボン玉や砂遊びもあり、観戦や体験は無料。雨天決行・荒天中止。

「安心安全な街 有明」 絵画展示



「有明1丁目」バス停付近の工事のための白壁フェンスが華やかだ。

有明小学校、有明西学園の児童の描いたA3判の絵画およそ300点。テーマは「交通安全」と「未来の有明」。

春の交通安全週間を前に2日には同所でセレモニーが行われた。展示は1カ月ほどの予定。

主催：東京湾岸警察署。協力：NPO法人 有明街づくりプロジェクトほか